

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき
高梁川流域ゆかりの
偉人・賢人特集

あかまつ げっせん
赤松 月船

新 高 総 早 倉 矢 井 浅 里 笠
見 梁 社 島 敷 掛 原 口 庄 岡
市 市 市 町 市 市 市 町 市

★ かつやく とし
活躍した年:
1897~1997年

★ かつやく ぶんや
活躍した分野:
詩人

★ ゆかりのある ばしょ
場所:
洞松寺



あかまつげっせん めいじ ねん いま あさくちしかもちょう のうか う しょうがっこう
赤松月船は、明治30（1897）年、今の浅口市鴨方町の農家に生まれました。小学校
そつぎょう どうじ いばらし ぜんぶくじ じゅうしょく あかまつぶっかい ようし めいじ ねん
卒業と同時に井原市にある善福寺の住職、赤松仏海の養子になり、明治42（1909）年、
さい そう な げっせん あらた
13才で僧になり、名を「月船」と改めました。

たいしょう ねん しこく ずいおうじ たいしょう ねん ふくい えいへいじ しゅぎょう
大正3（1914）年に四国の端応寺で、大正5（1916）年に福井の永平寺で修行し
ました。たいしょう ねん げっせん さい ぶんがく あつ おも そう みち はな
大正7（1918）年、月船が21才のとき、文学への熱い思いから僧の道を離
じょうきょう
れて上京しました。

にほんだいがくしゅうきょうか にゆうがく いっぽう いくたちょうこう おし しづく ちから しゅんれい か
日本大学宗教科へ入学する一方で、生田長江に教えてもらい、詩作りに力をいれ、『秋冷』『花
ふん ひ あか ししゅう つぎつぎ はっぴょう ちゅうもくう
粉の日』『明るきセレナード』などの詩集を次々に発表して注目を受けました。

しょうわ ねん ききょう どうしょうじ やかげちょうよこたに じゅうしょく ぶんだん とお
昭和11（1936）年に帰郷し、洞松寺（矢掛町横谷）の住職になり、文壇から遠ざか
りましたが、お釈迦さま・両祖さま（道元さま・瑩山さま）の教えを学び、ご先祖さまを敬
しやか りょうそ どうげん けいざん おし まな せんぞ うやま
うこころを唱える「詠讃歌」に独自の世界を切り開きました。

どうしょうじ しゅうふく もど じ え えが つづ かつどう かみ めく
また、洞松寺の修復のために、戻ってからひたすら字や絵を描き続け、その活動と神の恵
てら しゅうふく おこな かんが てら けいだい しんとくのひ こんりゅう
みにより、寺の修復を行うことができたという考えから、寺の境内に「神徳之碑」が建立し
ています。